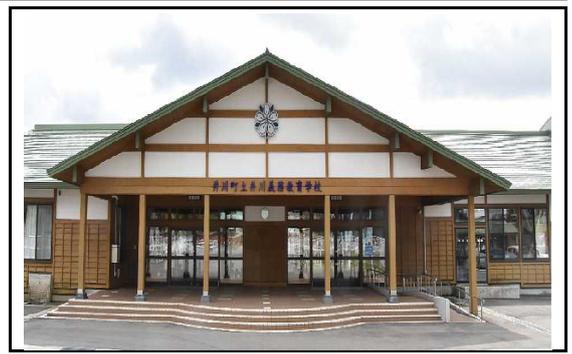


こんな活動です

あたたかな心 夢ときめく ひとつくり ～地域に根ざしたたくましい子どもの育成～

秋田県井川町	●活動名 井川町地域学校協働本部	●関係する学校名 井川町立井川義務教育学校
--------	---------------------	--------------------------

協働活動開始年度	平成 31 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成31年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	放課後子供教室		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	1人		6人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	
	100人					
参考URL	http://www.town.ikawa.akita.jp/gimu/index.html					
●連絡先	井川町教育委員会学務班		☎ 018-874-4424			



●活動の概要・経緯
旧井川小学校時代から長年にわたり、ふるさと教育等を通じて地域と学校との協働活動を行ってきた。平成29年度からは新たに「放課後子ども教室」に取り組んでいる。平成30年度に旧井川小学校と旧井川中学校が統合し、県内唯一の義務教育学校として井川義務教育学校が開校した。町でただ一つの学校となり、これまで以上に保護者や地域住民が当事者として関わることができるよう、平成31年度から井川町学校応援協議会(学校運営協議会)を設置した。設置初年度は熟議を行い、地域と学校が共通の課題や情報を共有し、よりよい学校運営及び協働活動ができるよう、様々な意見交換を行った。また同年度には、「わくわく土曜教室」をスタートさせ、地域学校協働活動推進員の委嘱も行っている。あらゆる活動を通して、井川で生きることに誇りをもち、明日の井川を拓く創造性豊かな児童生徒の育成に努めている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

平成29年度から「放課後子ども教室」、平成31年度から「わくわく土曜教室」を実施している。放課後子ども教室では、主に「算数教室」及び「英語教室」を開催している。どちらの教室も教員OBである協働活動支援員が担当し、様々な工夫を凝らした教材を使い、参加児童に寄り添いながら実施している。「わくわく土曜教室」では、地域住民を講師に迎え様々な体験活動や創作活動を実施している。令和元年度は、町の婦人会の方を講師に迎え、井川町独自の盆踊りの講習会を実施した。放課後子ども教室、わくわく土曜教室どちらについても、参加児童数は前年度より増加傾向にある。また、地域学校協働活動推進員と地域住民が協力し、町全体のつながりを大切にしながら実施している。

【実施に当たっての工夫】

- ・活動が地域に見えるように、教育委員会だよりや町の広報紙等を活用して情報発信をしている。
- ・地域住民の「得意なこと」を地域学校協働活動推進員同士で情報共有し、どんな教室が開催できるかを検討している。
- ・地域の資源(ひと・もの・こと)を最大限に生かし、子どもと大人が地域のよさを実感できる活動に取り組んでいる。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・放課後児童クラブと連携し、活動場所を共有し、互いの準備や企画を協力して行っている。
- ・地域学校協働活動推進員が学校応援協議会の委員になっていることから、情報共有や相互理解が図りやすい。
- ・町の婦人会員や公民館自主運営講座の方を講師に迎え、連携して教室を開催している。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・「井川みらい学」やふるさと教育等を通して、井川町の自然や歴史、伝統文化等に触れることにより、ふるさとに関心をもつとともに、町の伝統を受け継ごうとする意欲が育っている。
- ・学校支援活動及び正課クラブ等において、地域住民の多様な学習支援により、子どもたち一人一人への手厚いサポートが行き届いている。
- ・継続的な取組により、子どもたちと地域住民が互いに顔見知りとなり、地域で声を掛け合うなど豊かなつながりが生まれている。
- ・日々の登下校の見守りにより、安全が保たれるとともに、子どもたち自身の安全に対する意識が高まっている。

●その他

「井川みらい学」の一環として、NPO法人「はちろうプロジェクト」等と連携し、井川の水生物や八郎湖の植生を調べる活動等を通して井川町の環境学習に取り組んでいる。



各町内と花壇のクラブのみ



「井川みらい学」発表会

お米を作る人や働く人は、どうして少なくなっているのか。
 ・働くのが大変で人口も少なくなっているから。
 ・農業をやっているけど収入が少ないから。